

令和元年度 第2回 ホットスタンピング研究部会（最終回）

2020年3月のホットスタンピング研究部会が延期になっていましたが、2021年12月頭時点で、コロナ感染が収まってきたので、開催することになりました。対面での開催を計画していましたが、ここにきてオミクロン株の蔓延により、事前に皆様にお聞きしたところ、圧倒的にオンラインを希望されていたので、オンライン開催とさせていただきます。

最近 1470MPa 超高張力鋼板の冷間プレス成形の開発が盛んになってきて、ホットスタンピングと競合するようになってきましたので、その現状を報告していただきます。

また、アルミニウム合金のホットスタンピング、ホットスタンピングの遅れ破壊、温度計測法についても講演していただきます。

2013年からホットスタンピング研究部会を開催して、ホットスタンピングに関する技術紹介、情報交換を行ってきました。ホットスタンピングは新しい技術ですが、多くのメーカーで採用されて技術情報が拡散されるようになってきました。このような状況において本部会の役割も低下しており、今回で部会が最終になる予定をしております。

部会長 豊橋技術科学大学名誉教授 森 謙一郎

【開催日時】 2022年3月4日（金）10:30~17:00

【開催場所】 オンライン

【講演】

挨拶

10:30-11:35

部会長 豊橋技術科学大学名誉教授 森 謙一郎氏

1. 超高張力鋼板の冷間プレス成形

10:35-11:35

—1470MP 超高張力鋼板を中心とした冷間プレス工法—

日本製鉄株式会社 東日本製鐵所 品質管理部 君津ソリューション室
上席主幹 田中 康治氏

2. 高張力鋼板の冷間プレス成形

11:35~12:35

アイダエンジニアリング(株) 技術本部 要素設計部 金型装置設計 課長 下間 隆志氏

休憩

12:35~13:30

3. 熱処理型アルミニウム合金のホットスタンピング動向と
短時間加熱ホットスタンピングの取組み 13:30~14:30
横浜国立大学 理工学部 塑性加工研究室 准教授 前野 智美氏
4. ダイクエンチングされた鋼板の冷間せん断とレーザー切断における
残留応力と遅れ破壊 14:30~15:20
豊橋技術科学大学名誉教授 森 謙一郎氏
5. 放射率を用いない2色式サーモビューワの原理と応用例 15:20~16:00
(株)三井フォトニクス 代表取締役 臼井 寛之氏
- 意見交換会 16:00~17:00